

研修会 in 愛媛

9:00~13:00 (受付8:30~)
愛媛県歯科医師会館
2F大ホール
〒790-0014 愛媛県松山市柳井町2丁目6-2

日本歯内療法学会 (JEA) は歯科保存臨床における歯内療法分野に特化した学会で、全国の歯科大学教授や歯内療法に精進する開業医が多数所属しております。日々の臨床で先生方が遭遇する歯内療法の疑問点への解決策を探るべく、今回の研修会を企画いたしました。ぜひとも、この機会を見逃すことなく、多数の先生方のご参加を心よりお待ちしております。

後援：(一社) 愛媛県歯科医師会 実行委員長 高橋耕三

講師



北村 和夫 Kazuo Kitamura

1986年 日本歯科大学歯学部卒業
1990年 日本歯科大学歯学部大学院
歯学研究科歯科臨床系修了
1990年 日本歯科大学歯学部歯科保存学教室第1講座 助手
1997年 日本歯科大学歯学部歯科保存学教室第1講座 講師
2009年 日本歯科大学附属病院総合診療科 准教授
2015年 日本歯科大学附属病院総合診療科教授 (現在に至る)
2016年 日本歯科大学附属病院研修部長 (現在に至る)

日本歯科保存学会 専門医, 指導医, 理事
日本歯内療法学会 専門医, 指導医, 代議員
日本顕微鏡歯科学会 指導医
ジャパンオーラルヘルス学会 理事
関東歯内療法学会 理事

『形態異常に起因する
エンド難症例への対応』

今世紀に入ってから歯内療法の器具、特に歯内療法の三種の神器 (CBCT、マイクロスコープ、Ni-Tiロータリーファイル) の進歩により歯内療法は大きく変わっています。しかし、根管の解剖に関しては、今も昔も変わらないのも事実です。そこで、本講演では解剖学的形態による難症例について、過剰歯根・槌状根・中心結節・歯内歯 (陥入歯)・融合歯・Radix Entomolarisへの対応など、特殊な解剖学的形態異常歯への対応についてお話いたします。歯内療法専門医が日常、歯内療法の三種の神器を駆使して難症例に対応しているか、臨床例を提示して解説いたします。難症例攻略のカギが見つかるはず。解剖学的形態による難症例の治療を行う際に参考にしていただければ幸いです。

講師



横田 要 Kaname Yokota

2006年 大阪歯科大学卒業
2016年 ペンシルバニア大学歯内療法学科大学院卒業
2016年 大阪市にて歯内療法専門医
YOKOTA DENTAL OFFICE 開設
2017年 ペンシルバニア大学歯内療法学科非常勤講師

American Association of Endodontists specialist member

『米国歯内療法専門医が実践する
外科的歯内療法の実際』

我々が行う非外科的歯内療法の成功率は、残念ながら100%ではありません。では、非外科的歯内療法を行っても根尖性歯周炎の治癒傾向が認められなければ、全て抜歯しかないのでしょうか？

歯内療法専門医はそのような場合、外科的歯内療法で根尖性歯周炎をマネジメントしていきます。1990年代以降に導入された歯科用顕微鏡・特殊な超音波チップ・MTAセメントに代表されるバイオセラミックマテリアルを用いて行う外科的歯内療法は、Modern Endodontic Microsurgeryと呼ばれ、その成功率は90%を超える術式としてコンセンサスを得られています。

今回は、非外科的・外科的歯内療法を選択する際の意味決定から、外科的歯内療法の実際の術式ならびに必要な器具や材料を確認していただければと思います。

受講料：JEA会員・非会員問わず (受講料は当日承ります。)

歯科医師 ¥5,000
DH/DA/学生/他 ¥3,000

会場準備の都合上、事前にお申し込み下さい。事前登録締切 4月5日 (金)

JEAに入会ご希望の方は、受講料は無料といたします。

当日¥17,000 (入会金¥5,000 / 初年度年会費¥12,000) をご用意ください。

お問い合わせ先

〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9 駒込TSビル

(一財) 口腔保健協会内 (一社) 日本歯内療法学会事務局

E-mail : jea@kokuhoken.or.jp

TEL : 03-3947-8891

お申し込みは、インターネットから

2024年度日本歯内療法学会研修会 (愛媛会場) 参加申込フォーム

https://oha1.hetempl.net/jea/seminar2024_ehime/

